

平成19年度 岩切小学校 5年生

活動計画（「おこめについて考えよう」 58時間

※評価規準 【問】…問題解決，【学】…学び方・考え方，【主】…主体性・創造性，【生】…生き方
丸数字は4－（4）の身に付けさせたい資質や能力に対応している。

主な活動計画	時数	教師の支援と留意点	主な評価規準	備考（教科等との関連等）
<p>◎オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容とねらいの確認と活動の見通しをもつ。 ・NHK放送番組「おこめ」の紹介 ・ウェビングマップ作り①（実態調査） 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や学び方（生かし方）について，他教科の学習の関連を知らせ，結びつけていく。 ・ウェビングマップ作りでは，書けなくても問題がないことを知らせる。 	<p>【問】②「おこめ」をテーマに学習していくことを知り，学習の見通しをもつことができる。</p> <p>【問】①NHK放送番組「おこめ」のWebページの概要を知る。また，ここをベースに調べ学習や，他の地域の学校と交流することができることを知り，興味・関心をもつことができる。</p>	
<p>◎おこめに関わる問題を知ろう。</p> <p>◎おこめについてのお話。</p> <p>※講師「JA岩切」</p> <p>○NHK放送番組「おこめ」の視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ①おこめの一生 ②たんぼを作ろう ③日本人とおこめ ④農薬を使わないこめ作り ⑤農薬なしではやっていけない！ ⑥たんぼのある風景 ⑦世界のこめ作り ⑧たくさんおこめをとるために ⑨楽しい収穫 ⑩冷害をのりこえて ⑪こめを食べよう ⑫おこめとまつり 	13 (1) (2) 本時 5/12	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを用意し，番組の感想や疑問，取り組んでみたいことなどを，毎回記述する。 ・「番組視聴」→「学習カード」→「発表」（発言，掲示，掲示板の書き込み）を基本形とするが，番組のテーマや児童の実態に応じて，1時間に2番組視聴や番組についての話し合い活動などを取り入れていく。 <p>※掲示板等Webページの活用の仕方については，総合の情報教育に関わる時間で指導する。（Webページの活用の仕方，情報モラル等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的にペアを組ませ，協力して取り組む中で，情報機器の習熟を図る。 ・パソコン等情報機器の使い方については情報教育の時間を活用し，実践の場として取り組む。 ・パソコン室の割り当ての時間だけでなく，休み時間や放課後の時間を活用する。 	<p>【学】⑤おこめに関わることを様々な視点で気づき，理解を深めている。</p> <p>【学】⑥番組について，自分なりの感想や考えをもち，学習カードや掲示板など様々な手段で伝えている。</p> <p>【学】③NHK放送番組「おこめ」のWebページの仕組みを知り，掲示板やデジタルコンテンツを活用している。</p> <p>【主】⑧掲示板や会議室等を通して，他の地域の学校の活動を知り，興味をもった学校と交流している。</p>	<p>○社会科 ：「私たちの生活と食料生産」</p> <p>○理科 ：「植物の発芽と成長」 「生命のたんじょう」 「花から実へ」</p> <p>○家庭科 ：「作っておいしく食べよう」</p>

<p>⑬日本のこめ料理おにぎり ⑭アジアのこめ料理 ⑮世界のこめ料理 ⑯品種改良の道のり ⑰安全な食料とは ⑱現代おこめ事情 ⑲私たちの食べものは？ ⑳都市の農家の風景</p> <p>・番組視聴→学習カード→掲示板への書き込み、ゲームやクリップ集などデジタルコンテンツの利用 ・学級間、学校間で番組についての感想や意見の交換、活動の意見交換。</p>	<p>・教室にも1台、学校LANに入れるパソコンを設置し、いつでも書き込んだり、読んだりする環境を作る。 ・掲示板や発表コーナーでの書き込みを通して、相手を意識し、交流のきっかけとしたい。</p>	<p>○総合的な学習の時間 ：「情報教育」</p> <p>○道徳 ：自然愛護、生命尊重、勤労</p>
<p>◎おこめ作りに挑戦しよう ※ゲストティーチャー日野さん・色川さん</p> <p>・学校田の見学 ・田植え ・観察、草取り （学級ごとに2時間×3回） ・収穫 ・脱穀等 ・収穫祭</p>	<p>2 0</p> <p>(2) ・ゲストティーチャーの日野さん・色川さんとの関わりを多くし、米作りの説明だけでなく、質問等をできるようにする。 (3) ・活動の様子を写真に取り、児童の学習カードと一緒にコモンホールに掲示する。学校田や稲の変容が分かるようにしたい。 (6) ・看板作りやかかし作りも取り入れながら、田んぼや稲への愛着を持たせたい。 (3) ・学校田に植えた苗を一部バケツ稲にして育て、日常的に見られるようにしておく。</p>	<p>【問】①体験活動を通して、米作りへの関心を深め、農作業の仕方を理解している。 【問】②学校田や稲の様子に関心をもち、見通しをもって活動に取り組むことができる。 【学】⑤学校田や稲の様子の変化をつかみ、絵や言葉で表すことができる。 【学】⑤体験活動を通して、農業に取り組む人のことを考えている。 【主】⑦米作りの作業に積極的に参加している。</p>
<p>◎自分たちのテーマで取り組もう ○グループ分け ・ウェビングマップ作り②（実態調査） ※予想されるテーマ 米作り、稲の生長、他地域との米作りのちがいがい 安全な米作り（農業問題） おこめ料理、世界のおこめ、</p>	<p>2 2</p> <p>(1) ・テーマによっては各学級担任にテーマを割り当て、学級の枠を取り払って活動する。その中で共通の取り組みやグループ（学級）独自の活動を考えさせる。 (18) ・他学級とも同じテーマで取り組んでいくが、体験活動や調べ学習など必要に応じて学年で動いたり、学級で動いたりする。</p>	<p>【問】①今までの学習や体験を通して、自分の調べてみたい課題を見つけている。 【学】③インターネットや調査活動等を考え、情報を集めることができる。 【学】④集めた情報を自分なりにま</p>

○国語
：「」
○国語
：「」
○国語

<p>米の歴史，無洗米 等</p> <p>○グループ毎の調べ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べる ※調べ学習にあたって，考えられる活動 「おこめ」番組視聴，デジタルコンテンツの活用 ゲストティーチャー，他校，他団体との交流 ・まとめる ※まとめ方で考えられる方法 模造紙，紙しばい，スライドショー，劇等 <p>○「おこめ発表会」（ポスターセッション）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝える，伝え合う」ことを意識して取り組んでいくが，下級生や上級生，保護者や他地域の学校等，対象を学級毎に押さえさせる。 ・学年便りやWebページの「学年のページ」で，活動の様子を保護者に伝えていく。また，「おこめ」のWebページの概要について伝え，家庭でも活用できるように働きかける。 (Web上での番組視聴，コンテンツ利用，掲示板への書き込み等) ・課題を解決するために，取り組みたいことや調べたいことを明確にさせる。 ・校外での活動での約束を確認する。 (交通安全や水の事故防止等) ・調べ方，まとめ方でつまずきのあるグループには，情報の提供や役割をもたせるなど具体的な支援をする。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師も資料や情報収集を行い，必要に応じて提供する。 ・関係協力施設への渉外の補助や引率，取材機器の準備を行う。 ・テーマに関わる分について番組やクリップを視聴させる。また，取り組みについての意見交換に会議室や掲示板を活用させる。 	<p>とめることができる。</p> <p>【学】⑤体験活動や「おこめ」の番組など，内容を理解している。</p> <p>【学】⑥スライドショーや実演など，効果的な発表の方法を考えることができる。</p> <p>【問】②自分だけの考えにとらわれず，友達の見解にも耳を傾け，協力して計画的に取り組んでいる。</p> <p>【主】⑦目的に合わせ，取材や体験，インターネット等を活用して，調べている。</p> <p>【学】⑥自分たちの考えや思いを，効果的に伝えている。</p> <p>【生】⑨他のテーマの発表を聞き，相手の考えを理解し，共感している。</p>	<p>: 「」</p>
<p>◎活動を振り返って</p> <p>○1年間の活動を振り返って</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・ウェビングマップ作り③ 	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここで終わりではなく，今後の生活に，学習につながっていくことを伝える。 ・活動への取り組み方，学び方など，様々な視点で振り返らせる。 ・年間の活動の中で一人一人のよさや成長の跡を取り上げ，認め励ましていきたい。 	<p>【生】⑧活動を振り返り，生活の中でこれからも続けていきたいこと，新しく取り組みたいことを考え，実行に移している。</p> <p>【学】⑤⑥他学級，他学校との意見交換の中で，共通点や相違点を見いだすことができる。</p> <p>【学】③④⑤⑥学びの跡を振り返り，学び方について自分にどのような力が身に付いたのか確かめている。</p>	

平成19年度 岩切小学校 5年生

活動計画（「インターネットで交流学习をしよう。～お米の学習を通して～」） 時間

※評価規準 【問】…問題解決, 【学】…学び方・考え方, 【主】…主体性・創造性, 【生】…生き方
丸数字は4-(4)の身に付けさせたい資質や能力に対応している。

	主な活動計画	時数	教師の支援と留意点	主な評価規準	備考(教科等との)
	◎オリエンテーション ・学習内容とねらいの確認と活動の見通しをもつ。 ・名古屋の南陽小学校の位置をインターネットで知り、周囲の環境を見て岩切と比較する。	1	・意欲を持って取り組むことができるよう	【主】掲示板を通して、他の地域の学校の活動を知り、興味をもち地域のちがいをを見つけようとしている。	
	◎キューブコミュニティーを使って交流しよう。 ・使い方（パスワードの入力・書き込みの仕方等）コンピューターリテラシーを知る。 ・自己紹介コーナーの書き込み ・南陽小学校の友達の書き込みへの返事の書き込み	2	・画面の向こうにいる相手を思いやり書き込みをする等、モラルを持たせるようにする。また、教師は随時児童の書き込みをチェックする。 ・時間がかかってもローマ字入力で行うように励ます。教室にパソコンを置き、インターネット環境を整えとともに「キーボー島」などに取り組みせスキルを随時行う時間を設定する。	【学】掲示板の使い方がわかり、ローマ字入力で書き込みをすることができる。 【主】自己紹介や相手の書き込みに対する返信を意欲的にしようとしている。	
	◎ 自分のことや学校の紹介をしよう。 ○自己紹介カードを書いて南陽小学校に送る。 ○グループに別れて岩切小学校の紹介。 ・伝えたいことをグループ毎に決める。 ・取材 ・表現方法を考える。（発表名人・ビデオ・写真・手紙等） ・紹介作成 ・グループ毎の紹介を見せ合う。 ・全体をみて岩切小を伝えることができているか、補足するものはないか話し合う。 ・南陽小学校に送る。	4	・伝えたいことを明確にし、相手にわかるための資料の作成・収集等、表現方法の仕方を考えるようにさせる。 ・デジカメで写真を撮る、スキャナで資料を写す等したものを発表名人等で作成するなど、表現手段のスキルも身に付けさせる。 ・グループ毎の紹介を発表しあい互いのよさを認め合うようにさせる。	【問】学校紹介作りに関心を持ち、見通しをもって取材・資料集め等の活動に取り組むことができる。 【学】効果的な表現手段（発表名人・ビデオなど）を選択し、活用することができる。 【主】友達の意見を聞いたり、自分の意見を取り入れたりしながら、相手にわかりやすく学校の紹介をしようとしている。	○国語 「インタビュー名人」 ○国語 ○国語

<p>◎ 自分たちのテーマで取り組もう。</p> <p>○グループの紹介をする。 ○お互いの調べているテーマについて情報交換したり、一緒に調べたりする。</p> <p>○「おこめの発表会」 (ポスターセッション)</p>	<p>別紙参照 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・別題材「おこめについて考えよう」参照。 ・テレビ会議システム・掲示板等で何を調べていくグループか紹介しあわせる。 ・クラスに応じて他地域との比較やその他関連するグループはキューブコミュニティーに書き込みをして交流を行う。 ・互いのテーマについて掲示板を通して、一緒に調べたり、まとめたことを見せ合ったりさせる。児童が書き込みが困難な場合は、教師がスキャナやFAXなどを活用し知らせるようにする。 ・調べてまとめたものを南陽小の友達に見てもらう。(ビデオレター・テレビ会議システム等を使用) ・発表を見てもらい感想をもらう。 	<p>【問】今までの学習や体験を通して、自分の調べてみたい課題を見つけている。</p> <p>【学】調べ学習中に聞きたいことや伝えたいことをまとめて知らせることができる。</p> <p>【主】調べたい事柄について情報を積極的に集めようとしている。</p> <p>【問】相手にわかりやすいような表現方法を選ぶことができる。</p> <p>【学】発表時に注意することなどがわかる。</p> <p>【主】相手にわかりやすいように発表の仕方を考えて工夫している。</p> <p>【問】聞き手の感想を聞いたり、発表を終えてみて自分の調べたことや発表内容のよさがわかる。</p>	
<p>◎活動を振り返って ○交流活動を振り返って</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを使って遠隔地の小学校との交流をしての感想をまとめる。 	<p>【学】活動を振り返って考えることができる。</p>	